

空知信用金庫・第141回地域企業景気動向調査

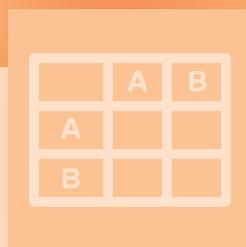
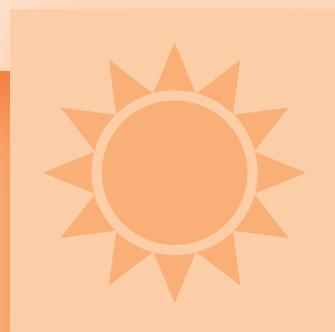
景況レポート

2021.10

このレポートは、空知信用金庫が岩見沢・美唄・三笠・栗山・由仁・長沼・南幌・江別に所在の地元企業のご協力により、令和3年7月～9月の景気の現状と令和3年10月～12月の見通しを調査したものです。

令和3年10月末日

空知信用金庫・地域支援部
岩見沢市3条西6丁目2番地1
電話(0126)22-1171



第141回 地域企業景気動向調査要項

1. 調査地域

若見沢市・美唄市・三笠市・江別市・栗山町・長沼町・南幌町・由仁町

2. 調査対象期間

令和3年7月～令和3年9月期（実績） 令和3年10月～令和3年12月期（予想）
令和3年8月26日～9月7日に実施

3. 調査の方法

面接・聞き取りによる調査

標本（調査対象企業）の抽出法としては、標本の業種・規模等の基本属性が、母集団（当金庫融資取引先）の属性に見合う基準にもとづく、有意抽出法によるもの。

4. 業況判断指数

D・I値による判断

D・Iとは？ Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略
企業の業況判断等を指数化したものであり、景気動向の方向性を示したものだ。
D・Iが高ければ好景気、低ければ不景気であると判断できます。

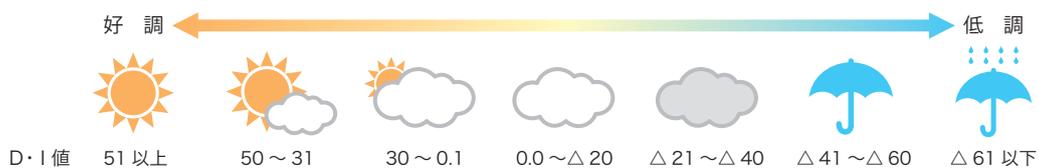
D・I値 = 「増加・やや増加・上昇の割合」 - 「減少・やや減少・下降の割合」

5. 調査対象企業数・有効回答数の内訳

区分	調査対象企業	有効回答数	有効回答率(%)
製造業	24	23	96
卸売業	14	14	100
小売業	57	55	96
サービス業	32	30	94
建設業	43	43	100
不動産業	7	7	100
運輸業	17	17	100
農業	28	27	96
計	222	216	97

6. 天気図の見方

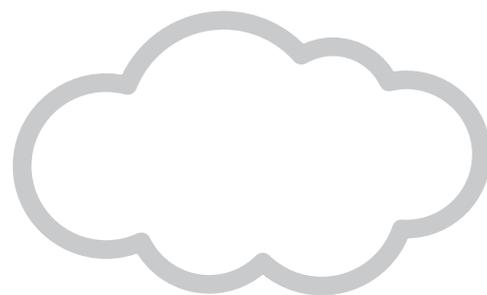
景気指標を総合的に判断して作成



7. 特別調査

「中小企業の雇用環境について」

総 合



概 況

緊急事態宣言下の中で深刻な景気停滞、7期連続マイナス

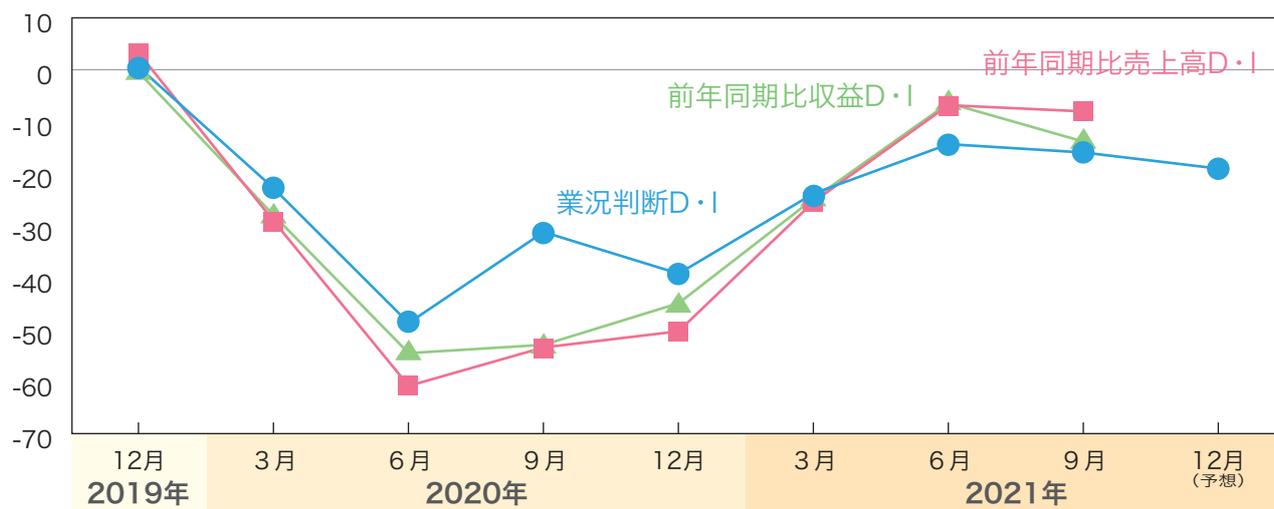
今期の業況判断指数（D・I値）は、△15.9と前期（4月～6月）より1.6ポイントの小幅悪化となり、前期にやや回復傾向にありましたが、期間中の緊急事態宣言の影響を受けました。運輸・農業でやや改善に止まり、他の業種は全て悪化し、冴えない状況が継続しました。主要指標（売上高D・I 収益D・I）もマイナス幅が拡大しました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△31.2	△14.3	△15.9	△19.0
売上高D・I	△53.4	△6.8	△8.0	—
収益D・I	△52.9	△6.4	△13.8	—

来期の見通しについて

製造・運輸業で下降を見込み、その他の業種では若干のパラツキが見られるものの現状維持を予想しており、比較的低調な業況の見通しです。

主要指標の推移



前期比D・Iの推移

○販売価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	0.0	4.4	8.7	△4.4
卸 売	14.3	14.3	21.4	14.3
小 売	7.3	3.6	5.5	1.8
サービス	0.0	△6.7	3.3	—
建 設	9.3	14.0	16.3	18.6
不動産	—	△14.3	14.3	14.3
運 輸	△11.8	5.9	5.9	△5.9
農 業	11.1	△18.5	△14.8	△22.2

※サービス業は料金価格、建設業は請負価格、運輸業は料金単価、農業は販売単価。

○仕入価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	4.3	43.5	34.8	30.4
卸 売	21.4	28.6	50.0	42.9
小 売	7.2	14.6	16.4	16.4
サービス	0.0	3.3	10.0	0.0
建 設	14.0	30.2	41.9	32.6
不動産	—	—	14.3	14.3
運 輸	△23.6	58.8	47.0	0.0
農 業	11.1	7.4	18.5	14.8

※製造業は原材料価格、サービス業・建設業は材料価格、運輸業は燃料価格、農業は生産資材等価格。

○人手過不足D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△4.4	△39.1	△39.2	△47.8
卸 売	△14.3	△14.3	△28.6	△28.6
小 売	△16.4	△25.5	△25.5	△25.5
サービス	△23.3	△16.7	△16.7	△16.7
建 設	△37.2	△32.6	△39.5	△34.9
不動産	△14.3	△14.3	-	14.3
運 輸	△47.0	△52.9	△52.9	△47.1
農 業	-	-	-	-

○残業時間D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△8.7	0.0	△13.1	△8.7
卸 売	△14.3	7.1	14.3	7.1
小 売	△9.1	△9.1	△9.1	△5.5
サービス	△3.3	0.0	△6.7	△6.7
建 設	△7.0	11.7	11.6	6.9
不動産	0.0	-	△14.3	△14.3
運 輸	△11.7	0.0	5.9	△5.9
農 業	-	-	-	-

○借入金の動き・難易度

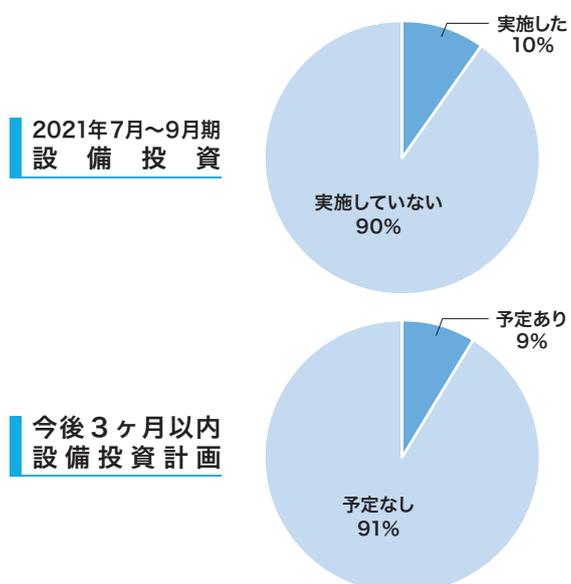
(%)

	借入金の実施	借入金の予定	民間金融機関からの借入難易度			
	し た	あ る	容 易	変わらない	難 しい	該 当 な し
製 造	-	8.7	13.0	43.5	17.4	26.1
卸 売	14.3	7.1	28.6	64.3	-	7.1
小 売	18.2	12.7	1.8	72.7	7.3	18.2
サービス	10.0	6.7	6.7	76.7	3.3	13.3
建 設	20.9	16.3	18.6	72.1	-	9.3
不動産	-	14.3	14.3	71.4	-	14.3
運 輸	17.6	23.5	17.6	70.6	5.9	5.9

○設備投資の動き

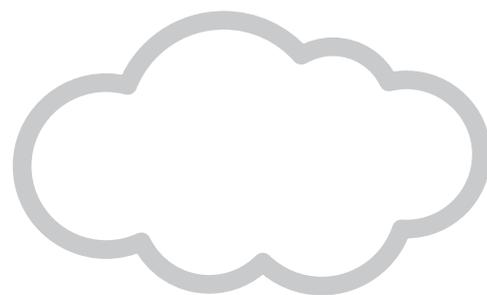
(%)

	前年同期	前 期	今 期	実施予定
製 造	17.4	17.4	26.1	17.4
卸 売	7.1	7.1	7.1	7.1
小 売	10.9	5.5	9.1	5.5
サービス	6.7	13.3	6.7	6.7
建 設	7.0	7.0	4.7	7.0
不動産	-	-	-	-
運 輸	29.4	17.6	11.8	17.6
農 業	3.7	7.4	11.1	-





製造業



概況

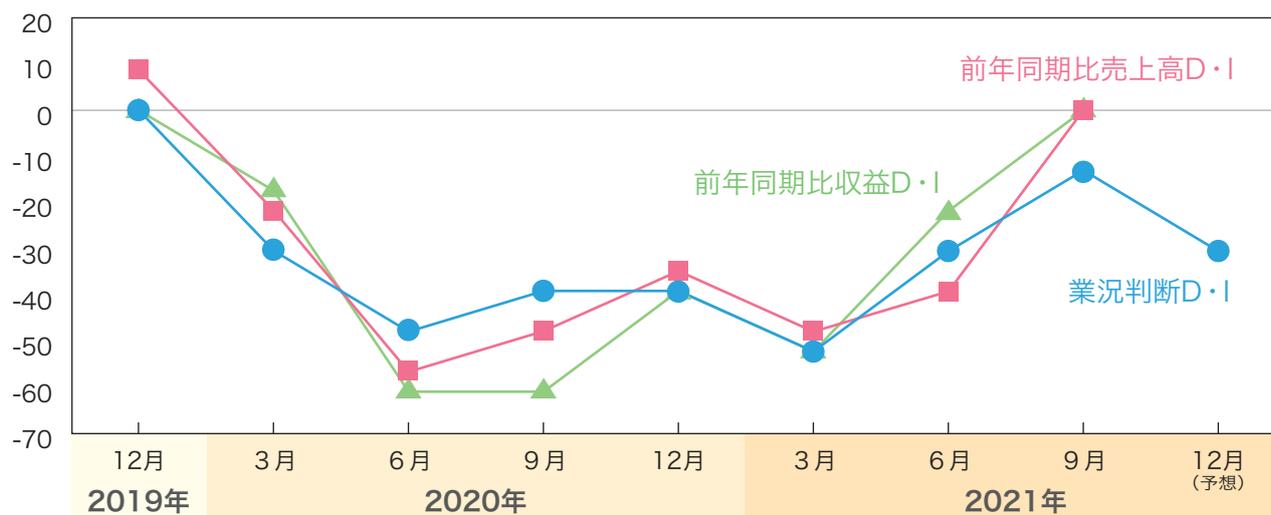
今期の業況判断指数（D・I値）は、△13.0と前期（4月～6月）に比べ、17.5ポイント改善されやや回復の兆しを示しましたが、冴えない業況が継続しました。出版印刷で下降、他の業種は現状維持でしたが、食料品製造業ではマイナス圏ながら、内食需要の増加に加え主要指標（売上高・収益DI）が大きく上昇し、回復の押上げ要因となりました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△39.1	△30.5	△13.0	△30.5
売上高D・I	△47.8	△39.2	0.0	—
収益D・I	△60.9	△21.8	0.0	—

来期の見通しについて

窯業・土石製品製造業では改善見通しですが、食料品製造業では反動の落込み予想で、全体では下降見込みとなり、比較的低調な業況が継続される見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・建設関係が好調から製造受注増加も、冬場は例年通り落込みの見込みである。
- ・仕入れや商談において人の往来が制限され、苦慮している。
- ・売上減少傾向にありながらも、収益確保している。売上減少に歯止めをかける対策が必要。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 52.2%	売上の停滞・減少 52.2%
第2位	原材料高 26.1%	工場・機械の狭小・老朽化 43.5%
第3位	利幅の縮小 26.1%	人手不足 原材料高 30.4%

(複数回答)

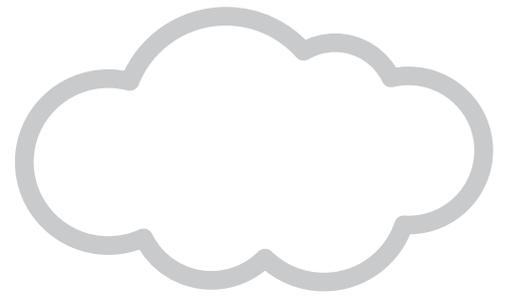
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 52.2%	販路を広げる 56.5%
第2位	経費を節減する 47.8%	経費を節減する 52.2%
第3位	人材を確保する 30.4%	人材を確保する 34.8%

(複数回答)



卸売業



概況

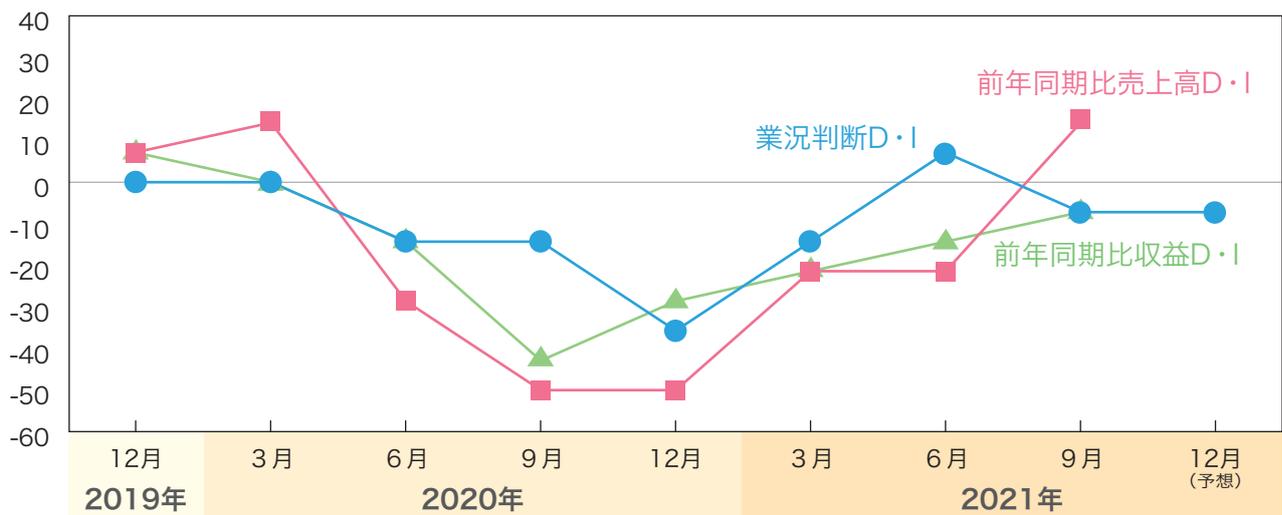
今期の業況判断指数（D・I値）は、△7.2と前期（4月～6月）に比べ14.3ポイント悪化しました。機械器具製造業では豪雪による車両部品の交換ニーズが高まり改善しましたが、農産物卸売業では外食需要の落込みによりマイナス水準に転じております。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△14.3	7.1	△7.2	△7.2
売上高D・I	△50.0	△21.4	14.3	-
収益D・I	△42.9	△14.3	△7.2	-

来期の見通しについて

建築資材卸売業でやや回復を予想しているものの、全体では改善を見込む業種はなく、現状維持の見通しにあります。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・収量減（メロン）。実の大きさも小さく、売行きは例年に比べ良くない。慢性的な人手不足の印象を受ける。
- ・コロナの影響はあまり受けておらず、玉ねぎの売上げも良好。アスパラの直売は地域で根強い人気がある。
- ・業況変わらず。（建設資材関連数社）

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	同業者間の競争の激化 35.7%	売上の停滞・減少 57.1%
第2位	売上の停滞・減少 35.7%	人手不足 28.6%
第3位	人手不足 販売納入先からの値下げ要請 地場産業の停滞 14.3%	仕入先からの値上げ要請 流通経路の変化による競争の激化 21.4%

（複数回答）

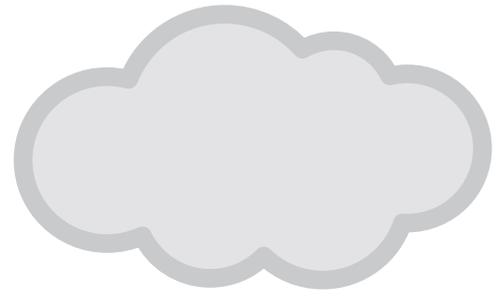
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 71.4%	経費を節減する 64.3%
第2位	情報力を強化する 28.6%	販路を広げる 50.0%
第3位	人材を確保する 21.4%	人材を確保する 21.4%

（複数回答）



小売業



概況

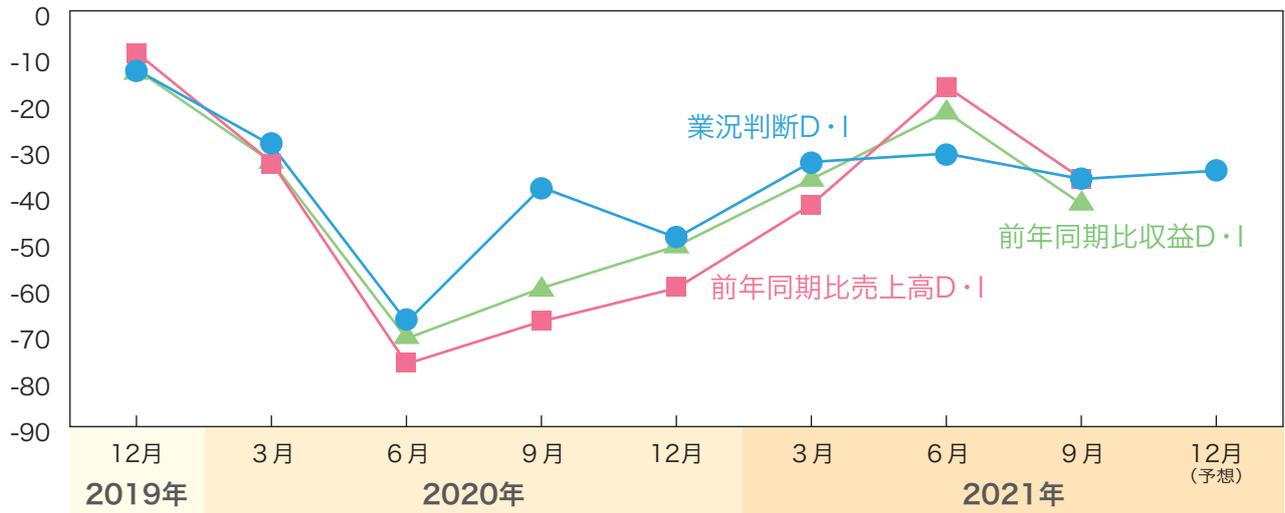
今期の業況判断指数（D・I値）は、△36.4と前期（4月～6月）から僅かながら下落し、低調な業況が継続しました。好調を維持していたスポーツ関連小売業で売上鈍化、家具・建具・什器小売業では人口減が売上げに連動する等、全体の業況は厳しい状況が継続しました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△38.2	△30.9	△36.4	△34.6
売上高D・I	△67.2	△16.4	△36.3	—
収益D・I	△60.0	△21.9	△41.8	—

来期の見通しについて

書籍・文房具、医薬品・化粧品小売業でやや改善が予想され、家庭用機械・電気機械器具小売業では悪化を見込み、他の業種は現状維持またはやや悪化を予想、全体ではやや下降に転じる見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・ 昨年のコロナ感染症対策商品の需要がピークアウトしている。
- ・ 客層は町内のお客様が9割。人口減少の影響が大きい。今後、売上げの増加はあまり見込めない。
- ・ 非正規雇用の処遇改善への取組みを強化。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 56.4%	商圏人口の減少 56.4%
第2位	商圏人口の減少 52.7%	売上の停滞・減少 41.8%
第3位	人手不足 25.5%	商店街の集客力の低下 人手不足 21.8%

(複数回答)

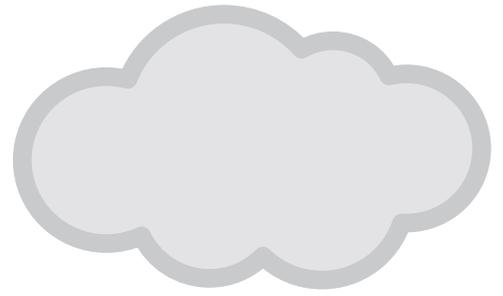
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 56.4%	経費を節減する 52.7%
第2位	売れ筋商品を扱う 30.9%	売れ筋商品を取扱う 27.3%
第3位	人材を確保する 品揃えを改善する 27.3%	人材を確保する 21.8%

(複数回答)



サービス業



概況

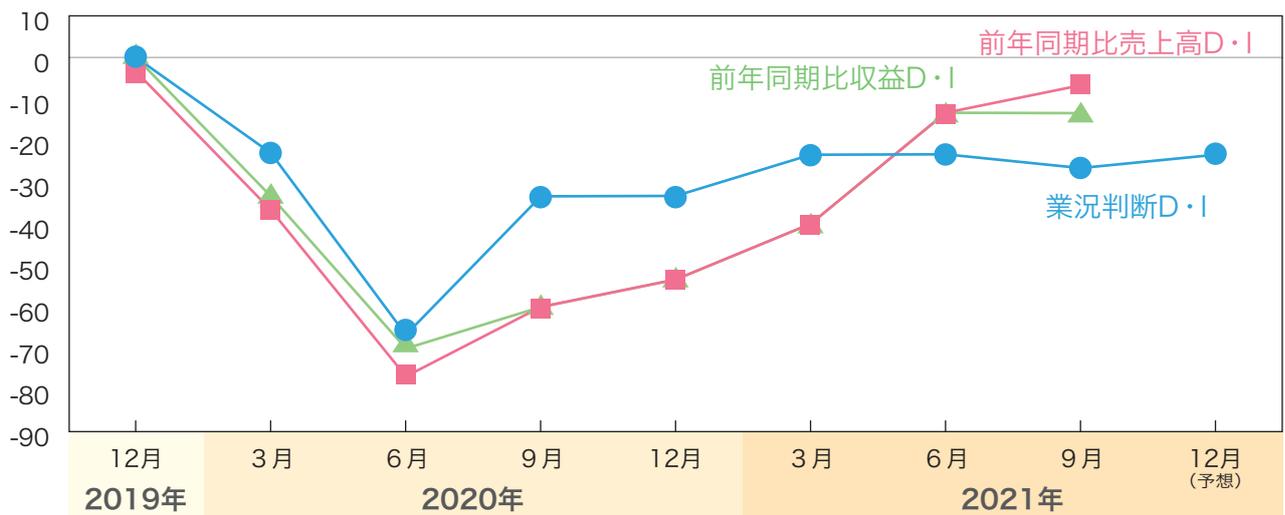
今期の業況判断指数(D・I値)は、△26.6と前期(4月～6月)に比べ3.3ポイント悪化、比較的低調な業況が続きました。自動車整備業で新車購入の一時的な停滞、常連顧客への値引等でやや落込み、その他の業種は、前期比横ばいの推移となり、全体では僅かながら悪化しております。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△33.4	△23.3	△26.6	△23.4
売上高D・I	△60.0	△13.3	△6.7	—
収益D・I	△60.0	△13.3	△13.4	—

来期の見通しについて

その他のサービス業でやや悪化を見込んでおりますが、他の業種では戻らない景況感もあって、今期と同レベルの見込みで、比較的低調な業況が継続する見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント(聞き取りを含む)の一部

- ・業績は堅調ながら、材料価格の上昇によりやや減益。
- ・春先の車両販売が落ち着いたものの、秋以降に向けた商談が増加している。
- ・大幅減収、閉店も検討。
- ・コロナの影響により、注文、来客の減少が続いている。補助金の申込みを中小企業診断士と協力して行っている。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 50.0%	商圏人口の減少 46.7%
第2位	商圏人口の減少 46.7%	売上の停滞・減少 40.0%
第3位	同業者間の競争の激化 33.3%	同業者間の競争の激化 26.7%

(複数回答)

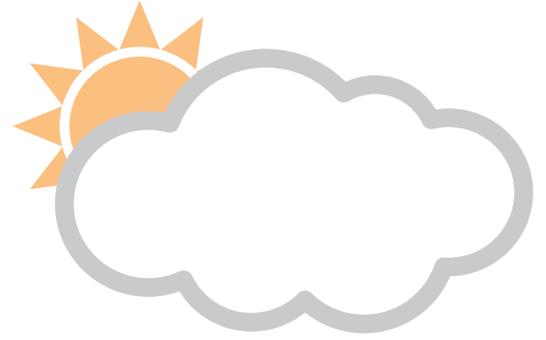
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 53.3%	経費を節減する 60.0%
第2位	販路を広げる 36.7%	販路を広げる 33.3%
第3位	技術力を強化する 33.3%	技術力を強化する 26.7%

(複数回答)



建設業



概況

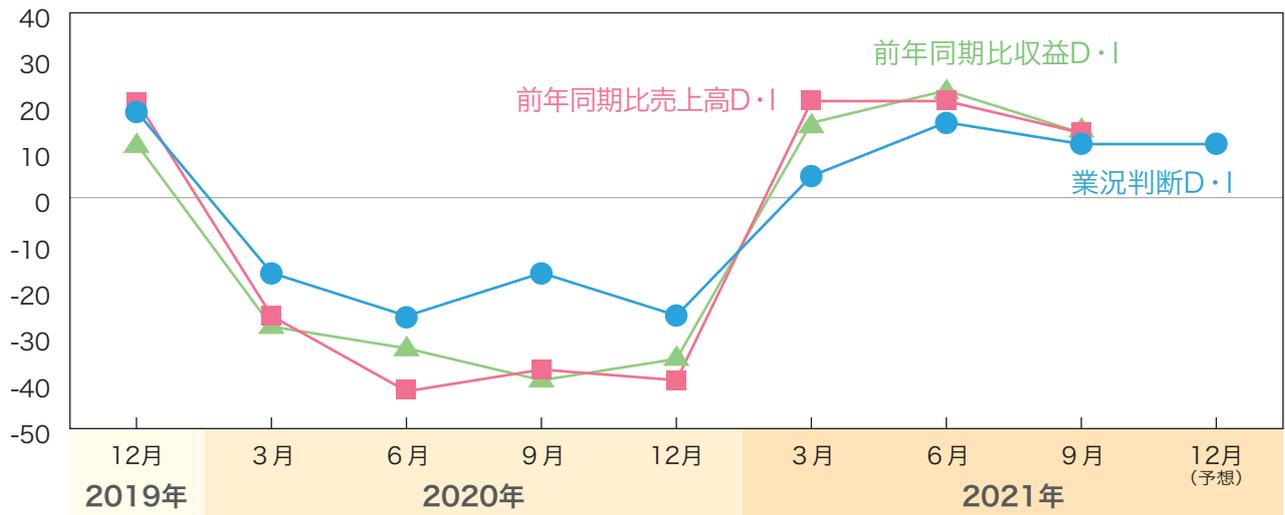
今期の業況判断指数（D・I値）は、11.6と前期（4月～6月）から4.7ポイント下降しました。職別・設備工事業ではいずれも前期同水準で推移しており、総合工事業で営業自粛による個人住宅（高齢者層）が落込みし、押下げ要因となりました。主要指標（売上高D・I 収益D・I）は前期比やや下降しましたが、3期連続でプラスが続きました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△16.3	16.3	11.6	11.6
売上高D・I	△37.2	20.9	14.0	—
収益D・I	△39.5	23.2	14.0	—

来期の見通しについて

総合および職別工事業ではいずれも落込み予想ですが、設備工事業は安定受注が見込まれ、全体では現状維持の見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・業況堅調に推移。若い人材の確保が課題。
- ・売上については昨年同様、好調。コロナ収束後は売上げ増加が見込める。
- ・豪雪により受注増加し、多忙の日が続いている。
- ・新築・増改築等安定した受注確保。ウッドショックの影響はない。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	人手不足	44.2%	人手不足	46.5%
第2位	売上の停滞・減少	30.2%	材料価格の上昇	25.6%
第3位	同業者間の競争の激化	25.6%	同業者間の競争の激化	20.9%

(複数回答)

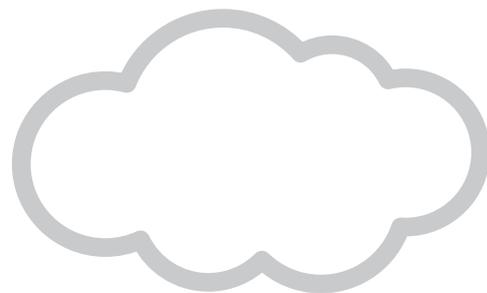
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	人材を確保する	55.8%	経費を節減する	46.5%
第2位	経費を節減する	37.2%	人材を確保する	41.9%
第3位	技術力を強化する 販路を広げる	27.9%	販路を広げる	25.6%

(複数回答)



不動産業



概況

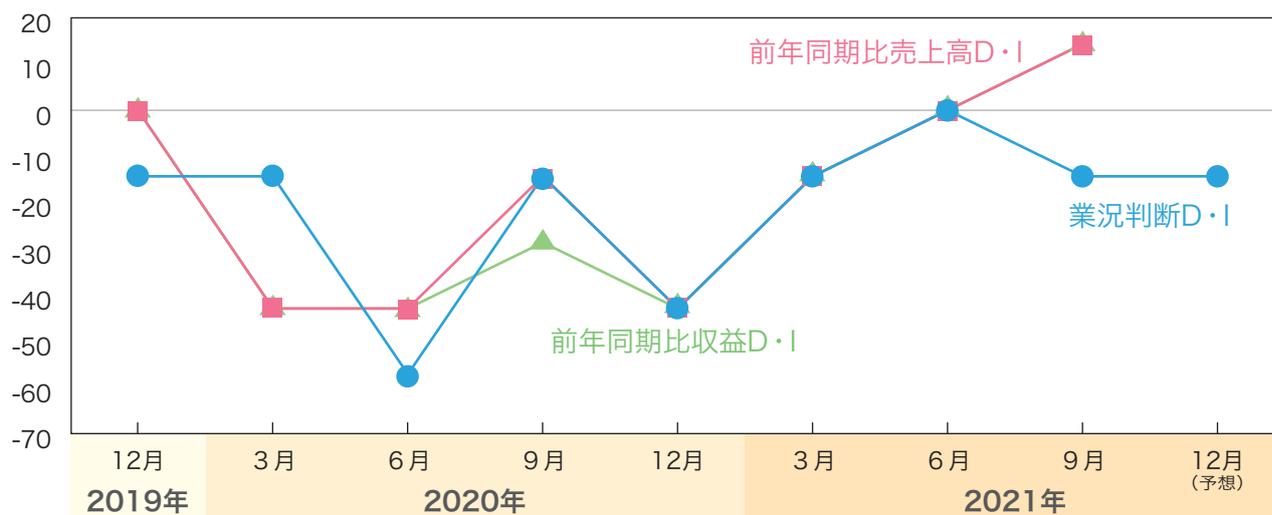
今期の業況判断指数（D・I値）は前期（4月～6月）から14.3ポイント悪化し、冴えない業況が続きました。貸家および貸事務所業では、コロナ禍でも業況は安定としておりますが、不動産代理・仲介業において、仲介業務が減少しており、その結果が反映されました。

来期の見通しについて

貸事務所・貸家業では比較的堅調な業況を予想するも、不動産代理・仲介業ではコロナ禍の中、先行きの不透明感もあり、比較的低調な業況となる見通しです。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△14.3	-	△14.3	△14.3
売上高D・I	△14.3	0.0	14.3	-
収益D・I	△28.6	0.0	14.3	-

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・ 仲介業務は概ね安定している。
- ・ 収益物件については人の出入りが少なく、収益は安定している。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 85.7%	同業者間の競争の激化 売上の停滞・減少 42.9%
第2位	同業者間の競争の激化 42.9%	
第3位	商品物件の縮小 利幅の縮小 28.6%	商品物件の縮小 28.6%

(複数回答)

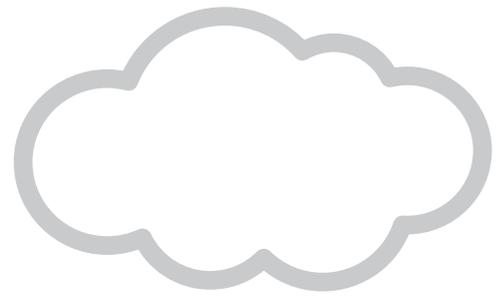
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 71.4%	経費を節減する 57.1%
第2位	軽費を節減する 宣伝・広告を強化する 42.9%	販路を広げる 28.6%
第3位	情報力を強化する 不動産の有効活用を図る 28.6%	情報力を強化する 人材を確保する 不動産の有効活用を図る 他 14.3%

(複数回答)



運輸業



概況

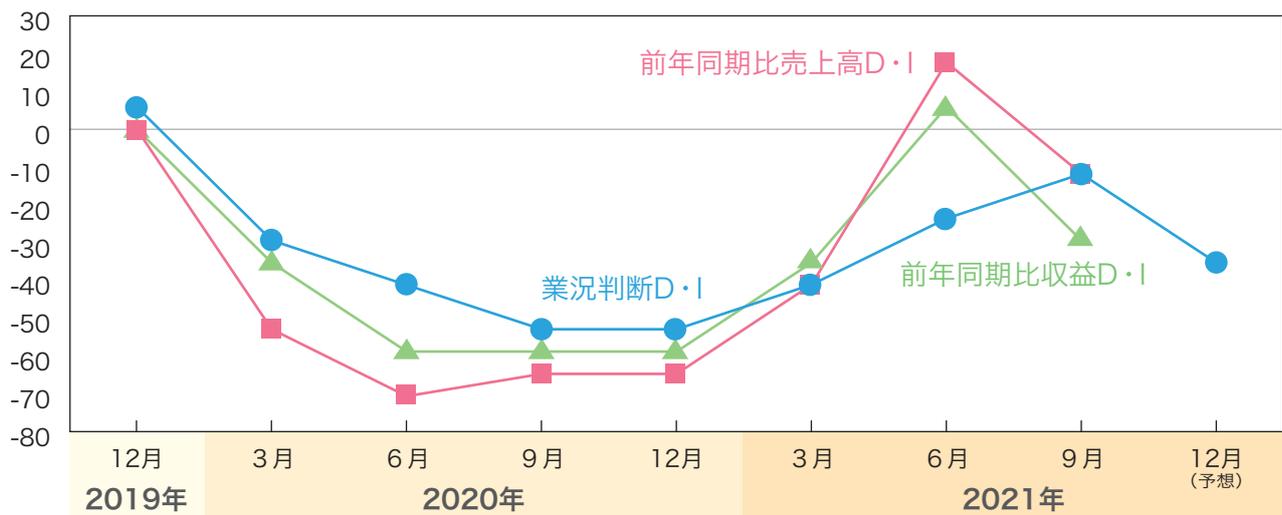
今期の業況判断指数（D・I値）は、△11.8と前期（4月～6月）に比べ11.8ポイント改善しました。旅客自動車業では最悪期から下げ止まり、貨物自動車・通運業では、新たに小荷物需要の増加等により、全体では低調な業況ながら、緩やかな回復の兆しが見えました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△52.9	△23.6	△11.8	△35.3
売上高D・I	△64.7	17.7	△11.8	—
収益D・I	△58.8	5.9	△29.4	—

来期の見通しについて

旅客自動車業では、人流抑制に加え、燃料価格の高騰に危機感を強め、他の業種でも不透明な状況から今期よりも悪化する見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・タクシー送迎需要の減少等コロナの影響あり。
- ・コロナの影響により、売上が増加している。（単籠り需要による宅配個数の増加による）
- ・燃料費の上昇が気になり。荷動きは回復基調。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	人手不足	58.8%	燃料価格の上昇	58.8%
第2位	燃料価格の上昇	52.9%	人手不足	52.9%
第3位	売上の停滞・減少 同業者間の競争の激化	35.3%	売上の停滞・減少 同業者間の競争の激化	35.3%

(複数回答)

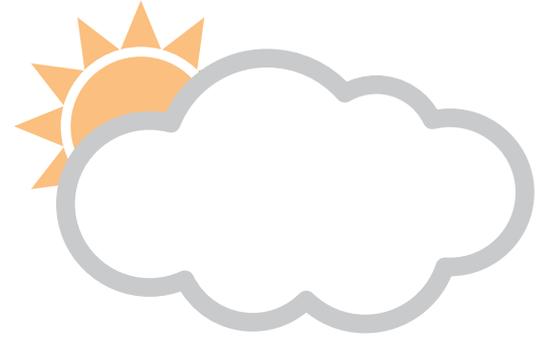
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	経費を節減する	70.6%	経費を節減する	82.4%
第2位	販路を広げる	35.3%	販路を広げる	35.3%
第3位	労働条件を改善する	29.4%	労働条件を改善する	29.4%

(複数回答)



農業

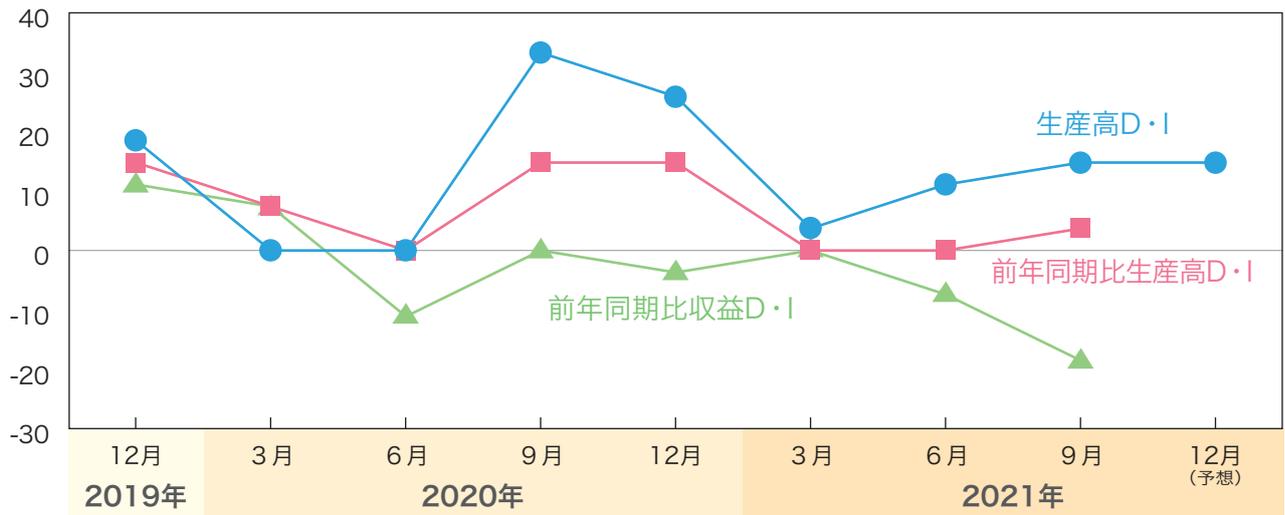


概況

生産高D・I値は、前期比3.7ポイント好転しました。7月前半から日照時間が例年を大きく上回り、高温少雨の影響を受け、生育状況は秋小麦1日、玉ねぎ11日、水稲は8日ほど早まり、収穫も平年より早く終了しました。一方、作物の量質は、「玉ねぎは小玉傾向」・「水稲作柄は良で量質とも上々」・「大豆は収穫量が平年をやや下回る」等の見通しです。米価の動向は、生産調整が全国で進められたものの、コロナ禍で在庫が全国的に積み上がり、21年産食用米の仮渡し金が2年連続で引き下げされ、水稲農家の減収は避けられない状況です。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
生産高D・I	33.3	11.1	14.8	14.8
前年同期比生産高D・I	14.8	0.0	3.7	-
収益D・I	0.0	△7.4	△18.5	-

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント (聞き取りを含む) の一部

- ・ コメ余りによる減反要求。需要減退から流通価格は昨年比1割減。
- ・ 人の往来が制限され、販路開拓に苦戦。
- ・ 少雨の影響で、例年に比べて収量は少ないが他の作物と比べて影響は少なそう。(馬鈴薯)

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	人手不足	51.9%	生産者価格の低迷	44.4%
第2位	生産者価格の低迷	37.0%	人手不足	37.0%
第3位	機械・設備の老朽化	33.3%	品質競争の激化	33.3%

(複数回答)

特別調査 中小企業の雇用環境について

当金庫が今回実施致しました第141回中小企業景気動向調査と併せて(運輸業と農業を除く)172先について「中小企業の雇用環境について」をアンケート調査した結果です。

問1. 貴社では、人手の状況をどのように認識していますか。人手が不足している場合は1~4より、人手が過剰な場合は6~9よりそれぞれ過不足のある職域をお答えください。なお、適正な場合は5を選択してください。

		人手不足			適正			人手過剰		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
人手不足	1 現場作業関係	39.1%	64.3%	14.5%	26.7%	46.5%	14.3%	32.0%		
	2 営業・販売関係	21.7%	7.1%	25.5%	3.3%	2.3%	14.3%	13.3%		
	3 経理・財務・管理関係	4.3%	0.0%	0.0%	3.3%	2.3%	0.0%	1.8%		
	4 その他の職種	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	5 適正	34.8%	28.6%	58.2%	63.3%	46.5%	71.4%	51.2%		
人手過剰	6 現場作業関係	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	1.2%	
	7 営業・販売関係	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	8 経理・財務・管理関係	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	9 その他の職種	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	

現下の状況を受けた人手の状況は、「適正」と回答した事業先は51.2%と最も多い回答結果となり、業種別では不動産業71.4%、サービス業63.3%、小売業58.2%の順となっております。対して、「人手不足」と回答した事業先の総計は47.1%で事業先の半数近くが不足を体感しており、特に卸売業71.4%、製造業65.1%、建設業51.1%の順に、不足感が高くなっております。職域別では、「現場作業関係」「営業販売関係」部門で45.3%を占めており、少子高齢化に起因する構造的な背景によるものと思われ、深刻度は上がりました。「人手過剰」と回答した総計は1.8%に止まりました。

問2. 政府はこれまで、最低賃金を毎年3%程度、引き上げてきました(2020年を除く)。最低賃金の引き上げが、貴社の雇用に与える影響はありますか。正規社員への影響については1~5の中から、非正規社員への影響については6~0の中から選んでお答えください。

		正規社員への影響					非正規社員への影響				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
正規社員	1 減らす	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	2.3%	0.0%	1.2%			
	2 変わらない	73.9%	71.4%	85.5%	93.3%	81.4%	100.0%	83.7%			
	3 増やす	8.7%	0.0%	1.8%	3.3%	7.0%	0.0%	4.1%			
	4 わからない	17.4%	28.6%	9.1%	0.0%	9.3%	0.0%	9.9%			
	5 もともと正規社員はいない	0.0%	0.0%	5.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%			
非正規社員	6 減らす	0.0%	0.0%	5.5%	3.3%	0.0%	0.0%	2.3%			
	7 変わらない	56.5%	57.1%	58.2%	53.3%	55.8%	71.4%	57.0%			
	8 増やす	8.7%	0.0%	9.1%	3.3%	9.3%	0.0%	7.0%			
	9 わからない	17.4%	21.4%	1.8%	0.0%	4.7%	0.0%	5.8%			
	0 もともと非正規社員はいない	17.4%	21.4%	23.6%	40.0%	30.2%	28.6%	27.3%			

最低賃金の引上げによる雇用への影響は、正規社員では「変わらない」と回答した事業先が83.7%と最も多く、次に「わからない」9.9%の順となりました。特に「変わらない」では、不動産業100%、サービス業93.3%、小売業85.5%と高い回答率となりました。また、「わからない」では卸売業28.6%、製造業17.4%で高い傾向となっております。非正規社員では「変わらない」が57.0%と最も高く、「もともと非正規社員はいない」が27.3%となりましたが、サービス業40.0%、建設業30.2%、不動産業28.6%の順にその割合が高く、職種による専門の技術者を確保するためと思われる。

問3. 貴社では、人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることはありますか。1~9の中から最大3つまで選んでお答えください。なお、特になければ0を選択下さい。

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
実施している	1 同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善	20.0%	17.6%	22.2%	15.8%	20.5%	28.6%	20.3%			
	2 賃金引上げと労働生産性の向上	25.0%	41.2%	27.8%	42.1%	31.8%	28.6%	32.2%			
	3 長時間労働の是正	25.0%	23.5%	25.0%	21.1%	20.5%	28.6%	23.1%			
	4 人材育成	30.0%	11.8%	25.0%	21.1%	25.0%	0.0%	22.4%			
	5 テレワーク、副業・兼業など柔軟な働き方	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	2.3%	14.3%	2.1%			
	6 女性・若者が活躍しやすい環境整備	20.0%	33.3%	29.5%	10.5%	18.2%	33.3%	22.6%			
	7 高齢者の就業促進	6.7%	0.0%	6.8%	5.3%	13.6%	0.0%	7.5%			
	8 病気の治療、子育て・介護と仕事の両立	0.0%	0.0%	4.5%	10.5%	0.0%	0.0%	3.8%			
	9 外国人等多様な人材の受入れ	6.7%	33.3%	0.0%	0.0%	13.6%	0.0%	4.7%			
0 特になければ	66.7%	33.3%	59.1%	73.7%	54.5%	66.7%	61.3%				

(複数回答)

人材確保のための職場環境改善に向けた対策では、「特になければ」が61.3%と高い回答率となり、人手不足下の中で課題として肌感覚であるものの、コロナ禍の影響もあり取組手が回らない状況がうかがわれます。対して、実施策では「賃金引上げと労働生産性の向上」32.2%、「長時間労働の是正」23.1%、「女性・若者が活躍しやすい環境整備」22.6%等、既に危機意識をもって確実に社内環境や制度の見直しに努力している事業先も見受けられました。

問4. 人材確保が難しくなるなか、貴社では、生産性向上に向けた取組みをしていますか。1～9の中から最大3つまでお答え下さい。なお、特にないという方は0を選択下さい。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 機械設備の導入 | 6 業務プロセスの改善 |
| 2 IT投資の実施 | 7 M&Aなどの事業再編による規模の拡大 |
| 3 企業間連携による業務の共同化等 | 8 人材育成の実施 |
| 4 業務の外注 | 9 働きやすい環境や制度の整備 |
| 5 高付加価値業務への集中・転換、単価の引上げ | 0 特にない |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 機械設備の導入	24.3%	10.0%	9.2%	12.8%	11.7%	0.0%	12.4%
2 IT投資の実施	2.7%	5.0%	3.9%	2.6%	1.7%	33.4%	3.3%
3 企業間連携による業務の共同化等	5.4%	5.0%	0.0%	2.6%	3.3%	0.0%	2.5%
4 業務の外注	2.7%	10.0%	0.0%	2.6%	8.3%	0.0%	3.7%
5 高付加価値業務への集中・転換、単価の引上げ	5.4%	5.0%	5.3%	0.0%	3.3%	0.0%	3.7%
6 業務プロセスの改善	13.5%	20.0%	10.5%	12.8%	13.3%	11.1%	12.9%
7 M&Aなどの事業再編による規模の拡大	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.4%
8 人材育成の実施	8.1%	10.0%	10.5%	7.7%	13.3%	11.1%	10.4%
9 働きやすい環境や制度の整備	16.2%	15.0%	22.4%	17.9%	18.3%	22.2%	19.1%
0 特にない	21.6%	20.0%	38.2%	41.0%	25.0%	44.4%	31.5%

(複数回答)

生産性向上に向けた取組については、「特にない」が31.5%と最も高い回答率となり、業種毎では不動産業44.4%、サービス業41.0%、小売業38.2%の順となりました。対して、具体的な取組では「働きやすい環境や制度の整備」19.1%、「業務プロセスの改善」12.9%、「機械設備の導入」12.4%となっており、その他の取組にバラツキがうかがわれるものの、経営上の課題を的確にとらえ、全体の7割弱が何らかの策を講じております。

問5. 貴社では、人材育成や確保のために、地域金融機関に対して融資以外の点で求めることはありますか。1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。なお、特にないという方は0を選択下さい。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 人材の紹介・派遣 | 6 社労士等の専門家紹介 |
| 2 取引先金融機関の人材を派遣 | 7 従業員研修の実施 |
| 3 人材マッチングサービスの活用 | 8 他企業の先進事例紹介 |
| 4 補助金・助成金の紹介 | 9 福利厚生サービス等の利用提案 |
| 5 採用に係る情報提供 | 0 特に求めている |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 人材の紹介・派遣	12.1%	20.0%	16.4%	5.3%	18.9%	0.0%	14.1%
2 取引先金融機関の人材を派遣	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	5.7%	0.0%	1.8%
3 人材マッチングサービスの活用	15.2%	10.0%	4.5%	7.9%	11.3%	22.2%	9.5%
4 補助金・助成金の紹介	39.4%	40.0%	29.9%	28.9%	26.4%	33.3%	31.4%
5 採用に係る情報提供	6.1%	5.0%	4.5%	2.6%	5.7%	11.1%	5.0%
6 社労士等の専門家紹介	0.0%	5.0%	0.0%	5.3%	1.9%	0.0%	1.8%
7 従業員研修の実施	0.0%	0.0%	3.0%	2.6%	1.9%	0.0%	1.8%
8 他企業の先進事例紹介	6.1%	5.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%
9 福利厚生サービス等の利用提案	6.1%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	11.1%	1.8%
0 特に求めている	15.2%	15.0%	35.8%	44.7%	28.3%	22.2%	30.0%

(複数回答)

人材育成や確保のために、地域金融機関に対して融資以外の点で求めることは、「補助金・助成金の紹介」31.4%、「特に求めている」30.0%、「人材の紹介・派遣」14.1%の順となりました。特に「補助金・助成金の紹介」と回答した業種では、卸売40.0%、製造業39.4%、不動産業33.3%の順となり、「特に求めている」とした業種では、サービス業44.7%、小売業35.8%、建設業28.3%の回答結果となりました。全体では、7割の企業が何らかの事由で金融機関を頼りにしていることがうかがわれます。

主要経済指標

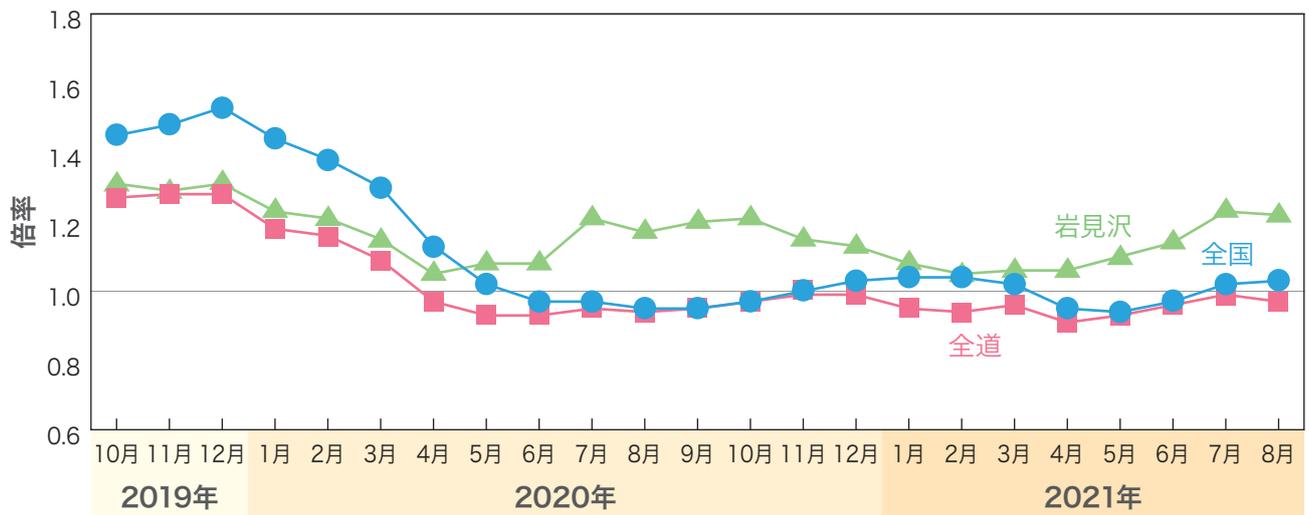
1. 空知管内・江別の人口動向

(人)

	2020年				2021年							
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
岩見沢市	79,612	79,557	79,452	79,361	79,262	79,163	78,855	78,887	78,832	78,706	78,658	78,566
美唄市	20,620	20,578	20,546	20,507	20,449	20,420	20,328	20,281	20,249	20,213	20,189	20,159
三笠市	8,182	8,168	8,167	8,153	8,131	8,086	8,040	8,059	8,039	8,029	8,012	8,007
栗山町	11,496	11,482	11,481	11,474	11,454	11,424	11,368	11,381	11,368	11,339	11,340	11,329
南幌町	7,445	7,450	7,441	7,447	7,436	7,432	7,416	7,413	7,397	7,389	7,397	7,394
由仁町	4,957	4,947	4,931	4,932	4,926	4,919	4,906	4,894	4,890	4,897	4,896	4,894
長沼町	10,545	10,552	10,538	10,515	10,501	10,490	10,442	10,431	10,412	10,405	10,392	10,387
江別市	119,881	119,900	119,855	119,819	119,776	119,682	119,500	119,748	119,739	119,718	119,672	119,664

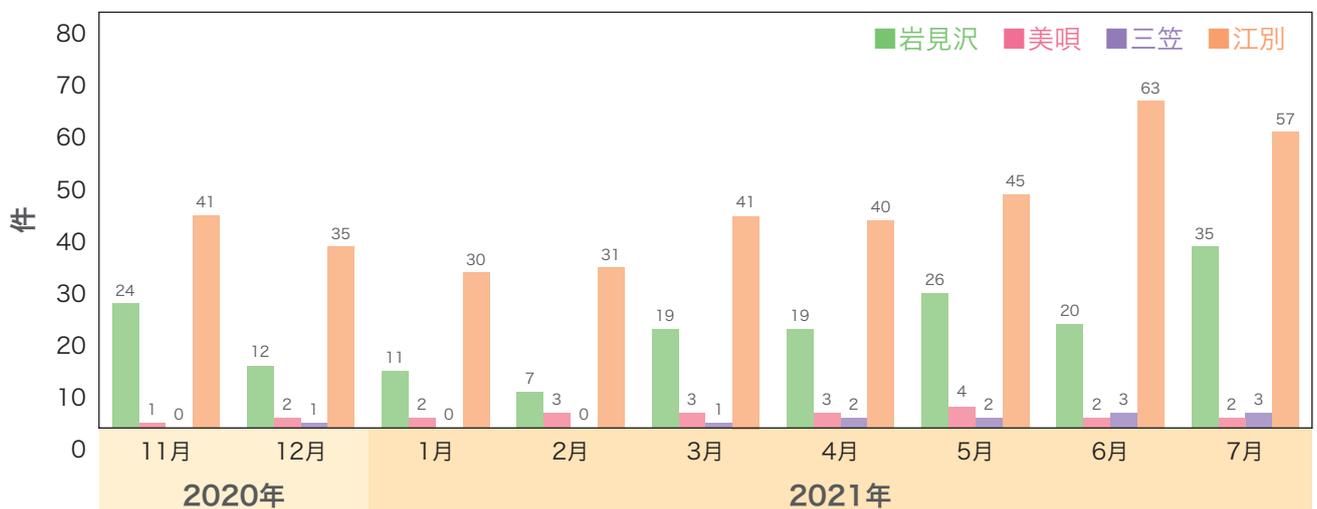
(資料：空知総合振興局)

2. 岩見沢管内の有効求人倍率



(資料：北海道労働局)

3. 建築確認申請数(4号) ※4号…木造2階建て以下の建築物

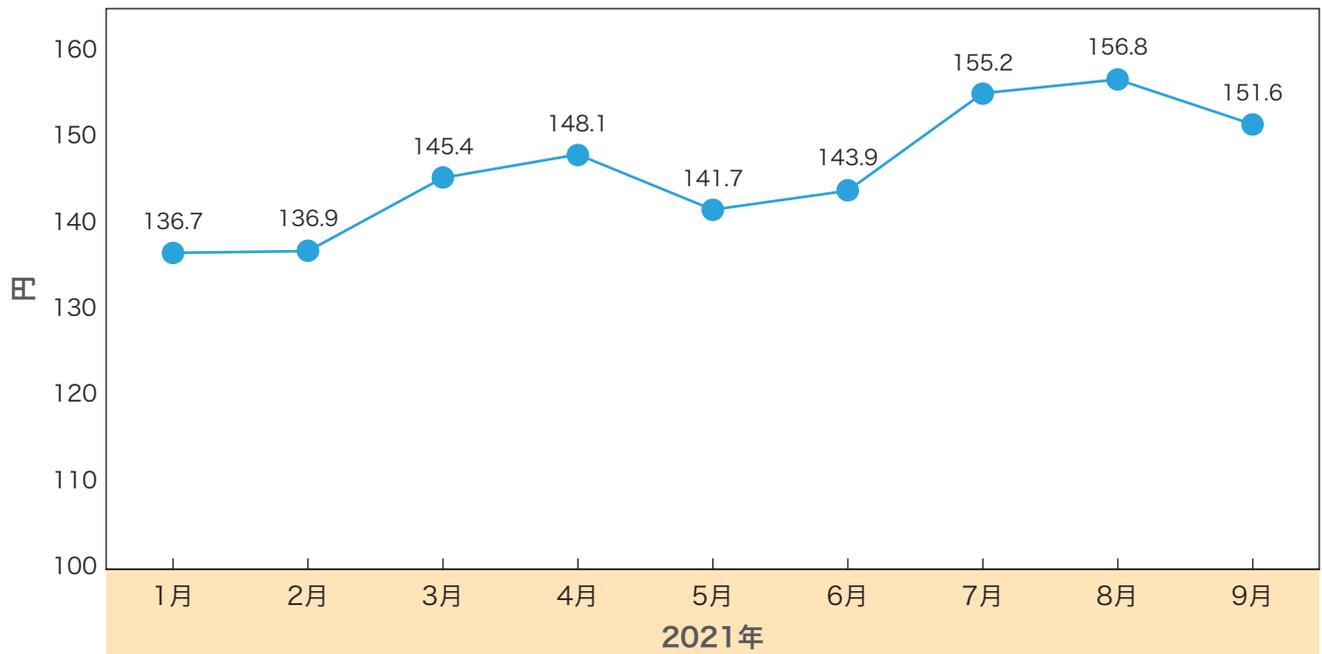


(資料：北海道建設新聞社)

4. 管内のガソリン価格・灯油価格

(岩見沢市・美幌市・三笠市・江別市・栗山町の平均を算出したもの)

① ガソリン



② 灯油



(資料：北海道消費者協会)

5信用金庫のお取引先企業のご紹介コーナー

(株)パブリックリレーションズ

紹介者：空知信用金庫（担当部：地域支援部 ☎0126-22-1171）

当社は創業当初より農協の基幹システム開発に携わり、農業との関わりが深い札幌のIT企業です。現在は実験圃場を持ち、ITと農業をつなぐソリューションの開発に取り組んでいます。昨年はゴルフ場水分センサーや農業ハウスの自動制御機器などIoT機器の製造販売を開始致しました。その他に、勤怠管理、販売管理、座席予約システム、訪問診療、順番待ちシステム、集配業務支援、ECサイト構築など様々な開発実績があります。



【主要取扱商品】

ソフトウェア開発、アプリ開発、
IoT機器製造販売

〒064-0807 札幌市中央区南7条西1丁目13 弘安ビル5F
担当者：泉 玲央 様
Tel 011-520-1800 Fax 011-520-1802
Hp <https://www.public.co.jp/>
E-mail r-izumi@public.co.jp

(株)トンデンファーム

紹介者：北海道信用金庫 札幌圏（担当部：しんきん北海道金融センター ☎011-706-1500）

「できる限り人の手で、愛情を込めて」をモットーに、職人による伝統の直下式炭火製法で作るハムやソーセージ、ベーコンなどの食肉加工品製造・販売している食品メーカーです。ドイツ農業振興協会（DLG）が主催する世界最大規模の国際品質競技会では金賞を数多く受賞。中元・歳暮など贈って喜ばれるギフトにも定評があります。本社直売店で毎月開催しているガーデンセールではお買い得商品目白押しで多くの人で賑わっています。



【主要取扱商品】

骨付ソーセージ、ベーコン、ハム他

〒069-0805 江別市元野幌968番地5
担当者：遠藤 正規 様
Tel 011-383-2499 Fax 011-383-8229
Hp <https://www.tondenfarm.co.jp/>
E-mail endou@tondenfarm.co.jp

(株)オタルレコース

紹介者：北海道信用金庫 後志圏（担当部：しんきん北海道金融センター ☎011-706-1500）

小樽の海を一望できる高台のアトリエにて、女性ガラス作家 木村幸愛のガラス作品をオンラインストア等で販売しています。原料にはクリスタルを使用し、国内外から取り寄せた色ガラスをふんだんに使った独特の色使いで、2009年の工房設立以来、全国に愛好家が生まれました。アトリエでは看板犬のサモエド犬「ざらめ」がお出迎え。



【主要取扱商品】

宙吹きガラス工芸によるガラス作品
(グラスウェア、オブジェ、アクセサリ等)

〒047-0156 小樽市桜2-20-4
担当者：宮越 様
Tel 0134-64-1995
Hp <https://www.yukieglass.net>
E-mail info@yukieglass.com

このコーナーは、空知、北海道、室蘭、苫小牧、旭川の各信用金庫のお取引先企業様を紹介する「**誌上ビジネスマッチング**」です。是非、皆様の販路拡大やビジネスの連携にお役立て下さい。お問合せは、直接掲載企業様もしくは紹介信用金庫までご連絡下さい。

上田商事(株)

紹介者：室蘭信用金庫（担当部：お客様支援部 ☎0143-44-3355）

当社は、園芸用品・雑貨類の販売の他、建築資材やセメントの販売、燃料の販売などを行っております。今般、グループ企業である「(株)上田商会」が、宮城県の「(株)ワンテーブル」と資本業務提携を行い、同社が開発した「5年保存備蓄食」防災ゼリー『LIFE STOCK』を当社にて2020年10月より販売しております。東日本大震災を教訓に開発された世界初となる「5年間常温保存可能なゼリー」です。災害発生時など万が一の時に、水や電気を必要とせず、ライフラインがストップしても子供からご高齢の方まで手軽に安心して食べることができます。エネルギー補給のための「エナジータイプ～ぶどう味、洋梨味」と、ビタミンや食物繊維を摂取できる「バランスタイプ～アップル&キャロット味」の2種類を用意しております。上田商会グループでは従前から防災関連工事に携わっており、胆振東部地震や台風・豪雨など国内での防災意識が高まる中で、防災工事・防災備蓄食の両面でサービスを提供し、防災事業を通じて防災産業の拡大や、災害時でも平時でも活用することができるデュアルユース型のプロダクトサービスの共同開発を目指しております。

〒059-0015 登別市新川町2丁目5番地1 担当者：鈴木 景介 様
Tel 0143-85-2022 Fax 0143-85-3996
Hp <http://www.ueda-gr.jp> E-mail k-suzuki@ueda-gr.jp



【主要取扱商品】

「5年保存備蓄食」防災ゼリー
『LIFE STOCK』

(有)拓勇商事

紹介者：苫小牧信用金庫（担当部：業務推進部 ☎0144-56-5026）

当店は、拳サイズのザンギ定食が人気の中華料理店「お食事処 ふじ」です。

現在は、ランチタイムのみの営業となっておりますが、ランチ限定メニュー等様々な定食をご用意しております。

また、テイクアウトも行っておりますので、苫小牧へお立ち寄りの際は、是非当店にお越し下さい。皆様のご来店、お待ちしております。

〒059-1303 苫小牧市拓勇東町4丁目2-9
担当者：藤本 暢毅 様
Tel 0144-55-6113



【主要取扱商品】

中華料理

らあめん支那虎

紹介者：旭川信用金庫（担当部：地域振興部 ☎0166-26-1175）

富良野のらーめん屋です。当店1番人気の「支那そば」は、魚介をふんだんに使用した自慢の逸品です。また、もう一つの看板メニューである「こげ塩」は、焦がしにんにくの香りがたまらない特製ラーメンです。富良野にお立ち寄りの際は、ぜひ当店にお越しください。ご来店を心よりお待ちしております。

【富良野店】 富良野幸町12-6
【札幌店】 札幌市北区北18条西5丁目1-7

〒076-0024 富良野市幸町12-6
担当者：那須 一 様
Tel 0167-23-2129



【主要取扱商品】

魚介香る醤油らーめん「支那そば」
にんにく焦がし油が決め手「こげ塩」

空知信用金庫 SDGs宣言

当金庫は、2015年9月の国連サミットで採択された「SDGs (持続可能な開発目標)」の趣旨に賛同し、当金庫の経営理念である「郷土の繁栄に寄与し、大衆からも職員からも喜ばれ、敬愛と信頼される信用金庫を創る」ため、SDGsを経営計画に反映させ、地域金融機関として地域社会の課題解決を実践し、持続可能な社会の実現に向け、これまで以上に積極的に取り組んでまいります。

令和3年1月1日
空知信用金庫
理事長 熊尾 憲昭

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



そらちしんきん 個人向けローン

お申込みからご契約まで
来店不要

WEBで完結



お申込はこちらから

カーライフプラン

ご融資利率

年 **1.15%** (※)
~年 **2.60%**

変動金利 (保証料込)

教育ローン

ご融資利率

年 **0.85%** (※)
~年 **2.30%**

変動金利 (保証料込)

個人ローン

ご融資利率

年 **3.10%** (※)
~年 **4.30%**

変動金利 (保証料込)

フリープラン

ご融資利率

年 **3.00%**
~年 **11.00%**

固定金利 (保証料込)

カードローン

ご融資利率

年 **11.00%**

固定金利 (保証料込)

詳しくは、空知信用金庫本支店窓口までお問い合わせまたはホームページをご覧ください。 (※) 下限金利の適用には一定の条件があります。

令和3年10月末現在

住宅ローン 特別金利

令和3年4月1日(木)～令和4年3月31日(木)
※募集総額が40億円に達し次第、募集を終了させていただきます。

お借入時年齢が50歳未満の方対象
充実した保障が **全国信保険料**
すべて金利上乗せ **なし 0円**
※保険会社の判断により加入できない場合があります。(保険料は当金庫が負担)

ご返済期間は**最長40年** ※保証会社の判断により短縮する場合があります。

変動金利型 新規受付利率

年 **0.65%** ~ 年 **0.75%** (※)

固定金利期間選択型 新規受付利率

固定金利特約期間 **10年**
年 **0.80%** ~ 年 **0.90%** (※)

(※) 下限金利の適用には一定の条件があります。別途、保証料がかかります。

固定金利期間選択型については固定金利期間終了後は、ご完済まで店頭基準金利から **年1.50%優遇いたします**

スマホで簡単申込み WEBで住宅ローン

事前審査お申込みが **2ステップ** で簡単に!!

ステップ 1 空知信用金庫の
ホームページにアクセス

そらち信金で検索

事前審査
お申込み **365日・24時間対応**

スマホの方は
こちらから



ステップ 2 サイト内の住宅ローン受付に
必要事項を入力

当金庫ホームページ内の住宅ローンWEB受付のお申込み欄
に必要事項をご入力いただき、事前審査お申込み完了!!
事前審査結果は後日お知らせいたします。

※しんきん保証基金保証付住宅ローンのみ

事前審査後の本申込みは営業店にて受付いたします

対象者 / 完済時年齢満80歳以下の方。
団体信用生命保険にご加入できない場合は、0.30%をご融資利率に上乗せします。

ご融資金額 / 1億円以内

ご融資期間 / 40年以内

担保 / ご融資物件に抵当権を設定します。

保証 / (一社)しんきん保証基金または全国保証㈱の保証。

保証料 / 保証会社の保証料についてはお借入時一括払または保証会社が定める保証料率をご融資利率に上乗せした毎月払とします。(一括払いの例) ご融資金額100万円、お借入期間25年の場合、7,891円～152,188円(毎月払いの例) 保証料率年0.07%～0.40%

手数料 / お借入時年齢が(50歳未満の場合)保証付住宅ローン事務取扱手数料(お借入金額に応じて)55,000円～220,000円(税込)、(50歳以上の場合)不動産担保事務取扱手数料49,500円(税込)(年齢に関わらず)全国保証㈱の保証で保証料一括払の場合は取扱手数料55,000円(税込)。

また、繰上返済や返済条件変更の場合は当金庫所定の手数料がかかります。

※ご返済額の試算につきましては店頭へお問い合わせください。

※店頭にて説明書をご用意しております。詳しくは窓口までお問い合わせください。

※固定金利特約期間満了後は、「キャップ(上限利率)付変動金利型」となりますが、ご希望により再度「固定金利期間選択型」を選択することができます。なお、固定金利選択期間中は、「変動金利型」や「全期間固定金利型」、あるいは他の固定金利特約期間への変更はできません。

※「変動金利型」から「固定金利型」、「固定金利期間選択型」に変更する際は条件変更手数料11,000円(税込)がかかります。また「全期間固定金利型」からは「変動金利型」あるいは「固定金利期間選択型」への変更はできません。

※当初お借入金利は、お申込時点の金利が適用されます。また、金利情勢の変化により、受付期間中に金利を見直しすることもございます。

LINEでそらちしんきんと友だちになろう!

様々な情報をLINEでお届け!



